

県政報告

広島県議会12月定例会は、12月7日から12月19日までの13日間の日程で開催され、補正予算などを審議しました。

《令和5年度12月定例会の概要》

■補正予算額 305億700万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰や人手不足等の課題に迅速かつ適切に対処するため、国の交付金等を活用し、物価高騰対策を切れ目なく実施する。

また、社会的基盤の強化など、9月補正予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要性が認められる取組を時機を逃さず実施する。

1 物価高騰・人手不足等への対応

11,537百万円

(1) 物価高騰による影響の緩和 [9,756百万円]

○ 交通事業者への支援	156百万円
燃油費高騰の影響が継続して厳しい経営状況が続く交通事業者に対して、引き続き、価格高騰の影響額の一部を支援	
○ 医療機関・社会福祉施設等への支援	943百万円
医療機関・社会福祉施設等に対して、原油価格・物価高騰による光熱費や食材費などの高騰の影響を緩和するため、引き続き、価格高騰の影響額の一部を支援	
○ 金融機関を活用した資金繰り支援	[債務] [271百万円]
中小企業等からニーズの高い、伴走支援型特別資金の融資枠を拡大し、長期・低利の資金繰りを支援 《融資枠：7,004億円⇒7,744億円》	
○ 特別高圧電気料金高騰に対する中小事業者等への支援	1,185百万円
特別高圧契約により受電した電気を使用する県内中小事業者等に対して、引き続き、電気料金高騰の影響額の一部を支援	
○ 地域の実情に応じた中小事業者への支援	300百万円
電力・ガス・物価高騰等の影響を大きく受けた県内中小事業者に対して、市町が単独で支援事業を行う場合、引き続き、県が事業費の一部を補助	

○ 配合飼料価格高騰に対する支援 配合飼料価格の高騰による畜産経営体への影響を緩和するため、引き続き、配合飼料の購入金額の一部を支援	1,306 百万円
○ 学校給食用牛乳を供給する酪農経営体への支援 学校給食用牛乳向けの生乳の生産を行う酪農経営体に対して、引き続き、生産コストの上昇分の一部を支援	24 百万円
○ 酪農経営体への支援 肉用子牛の市場取引価格の急落による酪農経営体への影響を緩和するため、引き続き、影響額の一部を支援	40 百万円
○ 和牛繁殖経営体への支援 和牛子牛の市場取引価格の急落による和牛繁殖経営体への影響を緩和するため、影響額の一部を支援	163 百万円
○ LPガス料金高騰に対する支援 家庭業務用LPガスを使用している県内の一般家庭及び中小企業等に対して、LPガス販売事業者を通じ、引き続き、料金高騰の影響額の一部を支援	1,076 百万円

(2) ネットゼロカーボン等の取組の後押し [1,781百万円]

○ 交通事業者への環境対策等に対する支援 持続可能な公共交通の実現に向け、環境対策、デジタル化対策等に係る経費の一部を支援	339 百万円
○ 運輸事業者への環境対応車等導入に対する支援 物価高騰等の課題に直面する県内運輸事業者に対して、CO2削減による環境負荷の軽減に資する環境対応車等の導入を支援	397 百万円
○ 県内製造業者等への応用・実用化開発に対する支援 物価高騰の影響による厳しい経営環境においても研究開発投資を減退させることがないよう、本県製造業者等が取り組む応用・実用化開発を切れ目なく支援	380 百万円
○ 県内事業者の海外への販路拡大に対する支援 エネルギー価格・物価高騰の影響等がある中、県内企業の体質強化・生産性の向上に向けて、県内事業者が新たに海外への販路拡大を行うため、製品の販売促進等を行うための経費の一部を支援	210 百万円
○ 中小企業等への賃上げ環境整備に対する支援 物価高騰の影響を受けている中小企業等に対して、持続的に賃上げを実施できる環境整備のための設備投資等の取組を支援	35 百万円
○ 交通事業者への人材確保に向けた環境整備に対する支援	55 百万円

持続可能な公共交通の実現に向け、交通事業者における人材確保につながる環境整備に係る経費の一部を支援

○ 運輸事業者への物流生産性向上等に対する支援 194 百万円

物流の 2024 年問題に直面する県内運輸事業者に対して、物流の生産性向上及び人材確保に向けた環境整備を支援

○ 人手不足対策としてのデジタルサービス導入に対する支援 171 百万円

物価高騰や労働市場における人手不足問題が深刻化する中、デジタルサービスの活用を通じた生産性の向上に取り組む県内企業を支援

2 社会的基盤の強化

15,423 百万円

(1) 激甚化・頻発化する気象災害等への対応 [15,423 百万円]

○ 公共事業（復旧・復興、防災・減災対策） 15,362 百万円

激甚化・頻発化する気象災害等からの早期の復旧・復興を加速させるとともに、県民の安全・安心を支える防災・減災対策等を着実に推進

【内訳】

〔補助公共事業〕 15,362 百万円

- ・ 道路事業 4,305 百万円（道路の整備等）
- ・ 河川事業 2,772 百万円（護岸等の整備等）
- ・ 砂防事業 4,833 百万円（砂防堰堤の整備等）
- ・ 海岸事業 221 百万円（護岸改良等）
- ・ 港湾事業 682 百万円（臨港道路の整備等）
- ・ 漁港事業 197 百万円（漁港の整備）
- ・ 街路事業 125 百万円（道路の整備等）
- ・ 農業農村整備事業 1,588 百万円（農地整備・ため池の改修等）
- ・ 治山事業 208 百万円（治山施設の整備）
- ・ 造林事業 430 百万円（森林整備）

○ 国定公園等整備事業 61 百万円

国定公園を安全・快適に利用できるよう、帝釈峡における歩道橋の塗装工事を実施

3 その他

3,547 百万円

○ 離転職者を対象とした委託訓練の実施 [債務] [238 百万円]

令和 6 年 4～6 月開始の離転職者を対象とした介護・IT 分野等の職業に必要な知識、技能を習得するための訓練を民間教育訓練機関

等に委託して実施

- 県立高等技術専門校における委託訓練の実施 [債務] [23 百万円]

令和6年度実施の県立高等技術専門校施設内で行う訓練の一部を民間教育訓練機関等に委託して実施

- 人事委員会勧告を踏まえた給料表の改定等 3,547 百万円

県人事委員会の勧告を踏まえた給料表の改定等を実施

- ・ 一般会計、特別会計（県営住宅事業費特別会計など4会計）、企業会計（病院事業会計など3会計）

■令和4年度決算の認定

- 一般会計・特別会計、企業会計

■条例〔6件〕

【新設】（1件）

- 広島県と広島県信用保証協会との損失補償契約に基づく回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例

【改正】（5件）

- 広島県手数料条例の一部を改正する条例 など

■人事案件〔1件〕

- 広島県収用委員会委員及び予備委員の任命の同意について

■その他の議案〔16件〕

- 工事請負契約の変更について など

■決議〔1件〕

- イスラエル・パレスチナの武力闘争の平和的解決を求める決議

■意見書〔3件〕

- 生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書
- 診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬及び保育等の公定価格の大幅改定を求める意見書
- 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

徳田陸橋東詰交差点 安全対策推進連絡協議会を開催

- 国道486号徳田陸橋踏切東詰交差点は、県内で広島市内の交差点を除き交通事故件数がワースト1位となっており、その安全対策が急務となっていました。
- このため、湯田学区・神辺学区自治会連合会会長を始め、隣接する地域の自治会長・PTA役員、交通安全自治会会長等の方々、福山市神辺支所、広島県東部建設事務所、福山北警察署の行政機関、地元県議、市議で組織する「徳田陸橋東詰交差点安全対策推進連絡協議会」を昨年9月に発足させ、これまで2回会議を開催しました。
- 年度内にもう一度会議を開催し、協議会としての安全対策案を取りまとめる方針です。



(徳田陸橋東詰交差点)





(安全対策推進連絡協議会)

県政トピックス②

国道313号（神辺バイパス） 4車線化が順調に進捗

- 平成30年4月に暫定2車線で開通した国道313号（神辺バイパス）で4車線化整備が推進されています。
- 現在、国道486号との交差点（湯野口交差点）から井原方面へ約1・5キロ区間の4車線整備を広島県東部建設事務所が行っております。
- 令和5年度は、このうち湯野口交差点付近から井原側約700メートルの区間で歩車道境界ブロックの設置工事を進めており年度内に完了する予定です。

- 来年度以降も、残りの区間で境界ブロック設置などの工事を推進し、この区間の4車線化の早期完成を目指します。



(神辺バイパス 4車線化整備状況)